

笹口小学校区にお住まいの方

令和2年3月26日

地域教育コーディネーター/ 佐藤 よしこ 貞子

直通電話/ 080-2000-6593

メール sasaguchi.es.partner@docomo.ne.jp

コーディネーター通信 No. 27

新潟の冬らしくない冬があっという間に過ぎ去ってしまいましたね。雪がなく、大人は移動が楽でしたが、子どもたちは少し残念そうでした。その後3月から休校となり、子どもたちは（特に6年生は）急なお別れになってしまいました。本当に残念でなりません。事態が一日でも早く終息することを願っています。

この通信で地域やご家庭の話題を少しでも増やすきっかけになれば幸いです。

【3年生 総合・バリアフリーを学ぶ】

3年生の授業では、12月に盲導犬ユーザーの赤塚さんと柁木さんにお越しいただきました。「目が見えないということはどういうことなのか」や、盲導犬のおかげで街に出られるようになったこと等を教えていただきました。

その後、3年生は振り返って「笹口は障がい者に優しい街なのか」という疑問を持ち、「調べたことを赤塚さんと柁木さんにお知らせしたい！」と思うようになりました。

そこで、点字を学び、町に出てバリアフリーを探し、その結果をまとめてお二人にお渡したい・・・そんな思いを持って授業を進めていくはずでしたが、突然の休校で終わってしまいました。

でも、その優しい思いをそのまま次年度に活かしていけると良いなあと思います。



ご存知ですか？

交通弱者用押しボタン
(少し横断時間が延長される)



【5年生 総合・笹口発 食の情報局】

5年生は新潟の食の実情を知るために、新潟駅ヘインタビューに出掛けました。「新潟と言えば何?」「お土産に買いたいものは?」等の質問に答えていただき、結果をまとめます。県内外を問わず日本酒を飲んでみたい、という答えが出てきたようですが、お土産にしたいと答えたのは県内の人だけでした。そこで疑問が出ます。

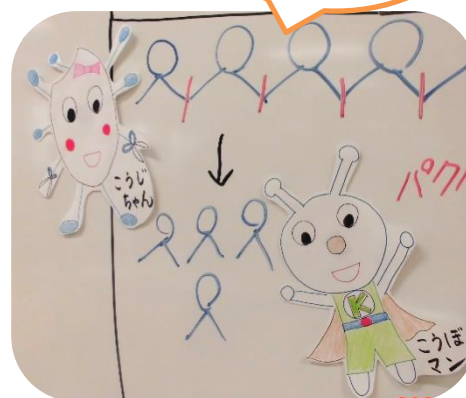
「県内の人日本酒の良さを知っているが、県外の人知らないという事なのかな?」



そこで、日本酒のスペシャリスト登場! 駅前で錦屋酒店を営む加藤さんにお話をお聞きします。加藤さんは元教員で、5年生に分かりやすく日本酒が出来る仕組みや、なぜ新潟で日本酒造りが盛んなのかを丁寧に教えてくれました。日本酒造りに欠かせない水の味でお酒の味が変わる、ということで海外の硬水と日本酒の仕込み水(石本酒造さんからのご協力)の飲み比べをしました。

新潟県は酒蔵の数が日本一だということ、日本酒は「国酒」であること、お酒造りは命がけであることなど、5年生はしっかり学んでいたようです。大人にも面白い授業となりました。

こうじちゃんと
こうぼマンの
関係とは?!



前代未聞の休校措置で心の整理がつかないまま、令和元年度が終わってしまいました。保護者の皆様におかれましては、お仕事やお子さんのことなど、急な判断を迫られて大変だったのではないかと思います。一日も早い終息を願っています。

今までご協力いただきました皆様、大変有難うございました。